



さいとう武次郎
市政報告

〒712-8046
倉敷市福田町古新田781-8
TEL 086-450-0555
FAX 086-450-0556



小中学校エアコン設置検討委員会設置へ

倉敷市内の学童保育 潜在的待機児童は1,170人?

6月議会が6月6日から24日まで開催されました。

青空市民クラブとして集中的に取り組んできた小中学校へのエアコン整備についての質問に対し、伊東市長は「検討委員会を設置する」旨を答弁しました。一歩前進させることができました。実現に向けて、更に頑張ります。

安倍総理が学童保育の拡充を表明! 5年間で30万人入所増へ!

安倍総理大臣は、全国で学童保育の潜在的待機児童が30万人いると推定され、5年間で入所児童を30万人増加させる旨を表明しました。

その方策として、小学校の空き教室の活用や放課後子ども教室と学童保育の一体型を推進し、放課後子ども教室を1万か所増やすことも表明しました。

このことに倉敷市としてどのような対応するのかとの質問に対し、倉敷市のアンケート調査等から、倉敷市でも現在、4,031人の学童保育入所者が5年後には5,201人と1,170人も増加することが予測され、施設整備の必要性を明らかにしました。

このことから、学童保育の潜在的待機児童は1,170人と仮定すると、国の潜在的待機児童が30万人とする数値とほぼ一致していると言えます。

倉敷市では、学童保育教室のスペース不足が課題になっています。その上、来年度から国の基準も厳しくなります。プレハブ教室の2階化や小学校の特別教室を放課後のみ利用するような対策が必要だと思えます。

倉敷市内学童保育入所児童の推移								
年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2019(推則)
人数	3301	3323	3437	3662	3701	3879	4031	5201

地区別学童保育入所人数見込み(単位:人)					
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
市全体	4426	4615	4855	5037	5201
倉敷地区	2134	2243	2412	2578	2639
水島地区	717	743	753	733	754
児島地区	589	601	598	587	601
玉島地区	986	1028	1092	1139	1207

スペース確保が急務です。

地区別の今後の入所人数見込みによると、倉敷地区と玉島地区で伸びが高くなっています。地区ごとの傾向も明らかになってきています。

倉敷南口スロープ存続を求める請願が不採択 エレベーターか、スロープの二者択一

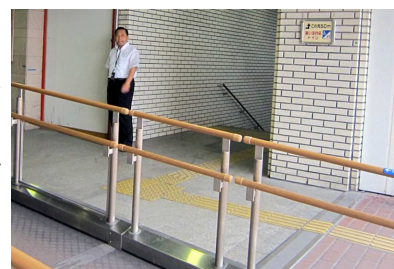
6月議会に市民団体から「倉敷駅南口スロープの存続を求める」請願書が提出されました。

武次郎はJR岡山支社を直接、訪問し、スロープ存続の可能性について協議したり、倉敷駅南口で朝のラッシュ時に乗降客の様子を現地調査を行いました。

エレベーターを設置する事業主体であり、管理責任者であるJRが「安全面の観点からスロープが撤去されなければ、エレベーター設置は困難」との見解を発表しました。

結果的には、エレベーターとスロープの二者択一を迫られた議会としては、最弱者にとってエレベーターは必要不可欠、エレベーターを優先すべきとの思いから、苦渋の選択として、請願の不採択を決定しました。

7月からエレベーターの設置が始まり、完成後、3月末までにスロープが撤去される計画です。



スロープを視察する武次郎